

## 薬剤部における薬物治療適正化に向けたテンプレートによる常用薬評価の効果

### 1. 研究の対象

2020年4月～2023年3月までに当院に入院された患者さん

### 2. 研究目的

当院薬剤部では、2021年4月から入院前常用薬への介入を標準化するためテンプレートを導入し、腎機能による用量調節やポリファーマシーに対する減薬を行っています。薬剤師が他の病棟スタッフと共同して常用薬に介入することで、減薬が達成できるのか、介入内容及び結果を取り組み前後で比較し効果を確認することを目的にしています。

### 3. 研究方法

後ろ向き症例対象研究

○研究の対象

2020年4月～2023年3月までに当院に入院された患者さんの中で入院期間内に薬剤師が病棟業務で介入を行った患者さん

○研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、入院期間、入院前常用薬数、退院後内服数、診療科、検査値、病棟薬剤師による常用薬に対する介入内容、介入した薬剤師

### 4. 研究の資金源、利益相反

本研究は、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではありませんが、利益相反については、当院の利益相反審査委員会で適切に管理されています。

### 5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、患者さんの診療等に不利益が生じることありませんのでご安心ください。

独立行政法人 国立病院機構 南和歌山医療センター 薬剤部  
〒646-8558 和歌山県田辺市たきない町 27-1  
電話 (0739) 26-7050 (代表)  
研究責任者 薬剤部 中村 友寿